

主な内容	2面 鶴川第二中学校合唱部 2つの全国大会へ
	3面 開館5周年記念 「孤愁の詩人・画家 蘆谷虹児展」
	4面 わがまち学校たんけん隊！



携帯電話用
QRコード

2011年度 町田市子ども教育委員会を開催しました！



10月22日(土)、2011年度町田市子ども教育委員会が開催されました。市内の小学校全42校から代表として選出された児童42名を子ども教育委員として任命し、教育委員会の教育委員とともに、テーマについて話し合いました。今年度のテーマは、『小学生からEco(エコ)発信!』。5つのグループに分かれて学校でできる環境問題に対する取り組みなどを話し合いました。

◀子ども教育委員任命書を受け取る南大谷小学校・平木さん
「今日一日、子ども教育委員としてがんばります!」

1 グループから発信

- ★earth day ~ごみをなくせ 世界から~
- ★エコ未来都市キャンペーン

ごみをなくしたいという気持ちはみんな一緒。世界からごみをなくすための取り組み、「earth day~ごみをなくせ 世界から~」を提案します。水を大切にすること、ポイ捨てをしないこと。そんな、当たり前だけどとても大切なことを、みんなが実行できる未来をつくるため、「エコ未来都市キャンペーン」を実施しよう!



2 グループから発信

- ★節電の取り組み
- ★ごみ減量の取り組み
- ★緑をふやす取り組み

なるべく外で遊ぶ、暖房を使わないでひざ掛けを使ってみる、みんなで競争しながらごみ拾いをする、そんな楽しくて簡単にできちゃうエコの取り組みを考えました。私達が今できること、それをきちんとやっていけば大きな力になると思います。



3 グループから発信

- ★ペットボトルのふたを集める
- ★雨水を利用し、グリーンカーテンをつくる
- ★エコ標語を校内放送で流す



ペットボトルのふたを集めると、エコにつながるだけではなく、世界の子ども達にワクチンを買うこともできる。雨水を利用してグリーンカーテンをつくる。いろんなことに取り組んでいる学校があって、感心しました。そんな素晴らしい取り組みをもっともっとたくさんの学校に広げていきたいです。



4 グループから発信

- ★発信する ~ポスター、エコ週間、PR活動~
- ★ともに考える ~ものを大切に~

エコって何なの? どういったことをすればいいの? なんとなくわかる気がするけど、わからないこともたくさんある。そのために、エコについてみんなに「発信する」と、「ともに考える」ことを提案したいと思います。



5 グループから発信

- ★エコばなし大作戦
- ★エコ給食大作戦

コンセントのさしっぱなし、電気のつけっぱなし、水の出しっぱなし、そんな「~ばなし」をなくすための「エコばなし大作戦」と、食べ物大切に、食べ残しを減らす「エコ給食大作戦」を考えました。



小学生から Eco 発信!!



詳細については市のホームページ「2011年度町田市子ども教育委員会報告書」をご覧ください。

▶[トップページ](#)> [子育て・教育](#)> [教育委員会](#)> [町田市子ども教育委員会](#)

学校は安心して楽しく学べる場所であって欲しい、子ども達には自尊感情を育み、自立心と自律・協調性を身につけて自ら世界を広げていく意欲を持った人間になって欲しいと思います。学習指導要領にある「自ら学び、自ら考える力」などの

「生きる力」を育むという事も、学校教育に求められる本質的な部分です。このような変わることにない教育理念を大切に継承していく一方、社会の変化に対応して教育が変わっていく部分などについては、学校と保護者、ご家庭との間の意思疎通を図り、十分なサポートをして参りたいと考えています。

また、町田市には他所にはない歴史・文化があり、史跡や美しい里山が残っています。音楽・文学・伝統芸能などの芸術に素晴らしいものがあります。これら文化的資産を誰もが享受し、新しい文学・伝統を創出する力につながるよう生涯学習の場を今後とも充実させていくことが求められます。

現在抱えている課題について真摯に取り組み、皆様のご期待に沿うよう他の教育委員と力を合わせ努力してまいります。重ねて、よろしくお願ひ申し上げます。

〔経歴〕昭和54年早稲田大学商学部卒、昭和58年オレゴン州立大学大学院卒、民間企業勤務、大学講師を経て、ニューヨーク補習校PTA会長、町田市立小川小学校保護者と教職員の会会長、平成14年から教育委員、平成20年から委員長職務代理者 55歳

この度、富川快雄前教育委員長の後任として11月6日付けで教育委員長に就任いたしました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。私が学校や教育の在り方について考え始めたきっかけは、夫のニューヨーク駐在時に子ども達の通う現地校のPTA役員や町の教育委員会のお手伝いをし、アメリカの教育に対する考え方を知ったことからです。地域の人々が学区の小・中学校を自分達の学校として誇りを持ち、様々な活動の場とし、サポートしていることに感銘を受けました。帰国して町田の教育にかかわってきた10年が、開かれた学校・学校と地域の連携を進め、スクールボード理事の全校配置に至る時期であることに不思議な縁を感じます。

「生きる力」を育むという事も、学校教育に求められる本質的な部分です。このような変わることにない教育理念を大切に継承していく一方、社会の変化に対応して教育が変わっていく部分などについては、学校と保護者、ご家庭との間の意思疎通を図り、十分なサポートをして参りたいと考えています。

また、町田市には他所にはない歴史・文化があり、史跡や美しい里山が残っています。音楽・文学・伝統芸能などの芸術に素晴らしいものがあります。これら文化的資産を誰もが享受し、新しい文学・伝統を創出する力につながるよう生涯学習の場を今後とも充実させていくことが求められます。



ぐあーわー

教育委員長
岡田英子

今年度の研究推進校が発表会を開催します



町田市立小・中学校のうち、今年度の研究推進校（市として研究課題に取り組む学校）が11校、研究校（自校で課題を決めて取り組む学校）が8校、また東京都の研究推進校が5校あります。そのうち、すでに研究発表が行われた学校、これから行う学校は以下の通りです。

2011年	学校	研究テーマ
10/21(金)	鶴川第三小(市推進校)	生きる力を支える「人間関係力」の育成 —言語活動の充実を図る指導の工夫—
10/28(金)	小山ヶ丘小(市研究校)	かかわり合い 伝え合い すすんで考える子の育成 —話す・聞く活動を通して—
11/4(金)	町田第五小(都推進校)	豊かな心を持ち、自ら考え、進んで実践しようとする子供を育てる —一人権教育の視点を踏まえた道徳授業の創造と特色ある教育活動の推進—
11/11(金)	三輪小(市推進校)	心身ともに健やかな子どもの育成
11/18(金)	相原小(市推進校)	我ら町田っ子・相原っ子 —相っ子カリキュラムを通して自己肯定感を高くむ—
2012年	学校	研究テーマ
1/27(金)	つくし野中(市推進校)	一人一人を大切に指導の工夫 —からだところの健康—
2/10(金)	図師小(市推進校)	心豊かに感じ合い、伝え合うことも 国語科「話すこと・聞くこと」…言語活動を通して…
2/10(金)	南成瀬小(市推進校)	考えを伝え合い、共に学び合う児童の育成 —協同的探究学習を通して—

※詳細は各学校に直接、お問い合わせ下さい。

10月30日(日)、府中の森芸術劇場で開催された「第64回全日本合唱コンクール全国大会」に東京支部代表として出場しました。4年連続4回目の出場となる今回、初の金賞を受賞しました。なお、東京都の中学校が金賞を受賞したのは、20年ぶり2回目の快挙です。同時に混声の部3位にあたる府中市教育委員会賞も受賞しました。



HKホールで開催された「第78回NHK全国学校音楽コンクール全国大会」に関東甲信越ブロックの代表として出場し、初出場ながら優良賞を受賞しました。「歌を愛しむ」とを大切に、美しい元気な歌声がテレビを通して全国に届けられました。

鶴川第二中学校合唱部 2つの全国大会へ♪

初の金賞受賞!



町田市立立学校において、国際版画美術館において、町田市教育講演会が開かれました。



まず、教育委員会から「平成23年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の速報値を踏まえて、町田市立学校の児童・生徒の体力の現状と課題を報告しました。



スポーツ教育推進校からの実践報告

町田市立立学校において、国際版画美術館において、町田市教育講演会が開かれました。まず、教育委員会から「平成23年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の速報値を踏まえて、町田市立学校の児童・生徒の体力の現状と課題を報告しました。



町田市教育講演会

今こそ子供の体力向上 元気な町田っ子の育成のために

10月29日(土)、町田市立国際版画美術館において、町田市教育講演会が開かれました。

まず、教育委員会から「平成23年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の速報値を踏まえて、町田市立学校の児童・生徒の体力の現状と課題を報告しました。

町田市教育委員会では、効果的な教育行政の推進や、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的に、教育に関する学識経験を有する方の知見の活用を図った上で、教育委員会の施策等の点検及び評価を毎年実施しています。

2011年度 教育委員会の施策等の点検及び評価報告書が完成しました

報告書は、市政情報課や図書館で閲覧することができます。また、町田市ホームページ「教育委員会」に「教育委員会」について、「教育委員会の施策等の点検及び評価」でもご覧いただけます。



町田市では環境教育の一環として節電への取り組みを行ってきましたが、2011年3月に発生した東日本大震災の影響により、夏の電力供給が逼迫する恐れがあることから、小・中学校において、6月〜9月の間、更なる節電対策を行いました。

主な対策内容

- ・間引き点灯の実施
- ・特別教室や体育館の照明は使用時のみ点灯
- ・待機電力の削減
- ・すだれや緑のカーテン等による日射遮断
- ・児童・生徒の自発的な節電活動の推進



節電実績(削減率)

小学校	13.7%
中学校	16.5%

小・中学校 夏の節電対策

教職員と児童・生徒が一丸となって「節電タイムの実施」などに取り組んだ結果、前年同月比約15%の節電実績を上げることができました。

2011年7月から10月までの間に、定例会4回、臨時会1回が開催されました。26件の議案を審議し、2件を協議しました。また、14件の請願、27件の報告を受けました。

- 【議案】
 - 2011年度町田市教育委員会施策等の点検及び評価(2010年度分)について
 - 2012年度使用教科用図書(小学校)の採択について
 - 2012年度使用教科用図書(中学校)の採択について
 - 町田市小規模特認校制度実施要綱の制定について
- 【協議事項】
 - (仮称)町田市立大戸・武蔵岡合同校舎型小中一貫校の呼称について
 - 町田市文化財保護審議会に対する諮問について
- 【請願】
 - 2012年度用中学校教科書採択についての請願：不採択
- 【報告事項】
 - 第二次町田市子ども読書活動推進計画2010年度取り組み報告について
 - 図書予約冊数の上限の変更について
 - 「町田観光ガイドブック」の発行について

教育委員会の動き 7月〜10月



蔵岡合同校舎型小中一貫校の呼称について
○町田市文化財保護審議会に対する諮問について

開館5周年記念

「孤愁の詩人・画家 落谷虹児展」

町田市民文学館
ことばらんど

10/15(土)～12/18(日) 10:00～17:00

※毎週月曜日、第2木曜日休館
※第1・3金曜日は20:00まで開館

観覧料

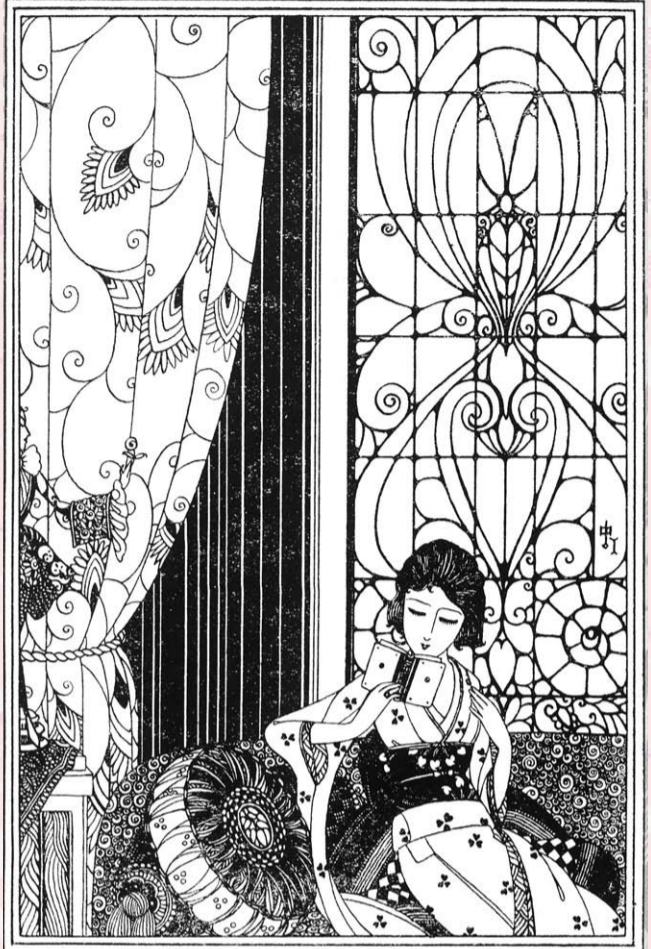
一般：400円 65歳以上・大学生：200円
高校生以下：無料 ※12/18(日)は無料

虹児が玉川学園に転居してきたのは1954(昭和29)年春、55歳の時のことで、この頃は絵本の挿絵に加えアニメの制作、念願であった個

展の開催、画集の出版など新たな分野へと活動を広げた時期でもありました。

町田市民文学館では、開館5周年を記念して、町田市玉川学園にて約20年過ごした、落谷虹児を紹介する展覧会を開催しています。

「わがATELIER」(『私の詩画集』より)



「わがATELIER」(『私の詩画集』より)

関連イベント

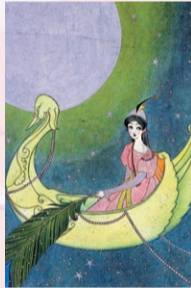
【学芸員による ギャラリー・トーク】

12月6日(火)
18日(日)
いずれも14:00～15:00
申込み不要(展覧会チケットを購入の上、展示室入口にお集まり下さい)

【朗読会】

自叙伝『花嫁人形』でたどる虹児の生涯

11月24日(木)
10:30～11:30
・朗読：NPO法人まちだ語り手の会
・会場：町田市民文学館 2階大会議室
・対象：一般
・申込み不要(直接会場にお越し下さい)



「或る夜の夢」

町田市民文学館から 学習支援事業の ご案内



町田市民文学館では、市内の小中学生を対象に、文学に触れあうきっかけ作りとして、文学館や町田ゆかりの作家、文学の楽しさを紹介する学習支援事業を実施しています。

事業内容

- ①小学生対象
 - 文学館、町田ゆかりの作家の紹介
 - 俳句をもとにしたゲーム(穴埋め)、紙芝居の上演
 - 展覧会の案内、鑑賞マナー等
 - ②中学生対象
 - 文学館、町田ゆかりの作家の紹介
 - 八木重吉(詩人)の紹介と詩の穴埋め問題
 - 展覧会の案内等
- ※授業時間は1時間程度です

これまでに 行った事業

- ①文学館での授業
 - 中学生の皆さんに文学館に来館してもらい、展覧会の解説、町田の文学の紹介を行いました。
- ②出張授業
 - 文学館の職員が学校に出向き、俳句をもとにした穴埋めゲーム【俳句であそぼう!】や、紙芝居の上演会を行いました。



申込み方法

電話かファックスにて、文学館「学習支援事業」担当あてに、学校名(団体名)、希望日、希望人数、希望内容をご連絡下さい。

問い合わせ

町田市民文学館ことばらんど
〒194-0013 原町田4-16-17
TEL 7309・3420
FAX 7309・3421



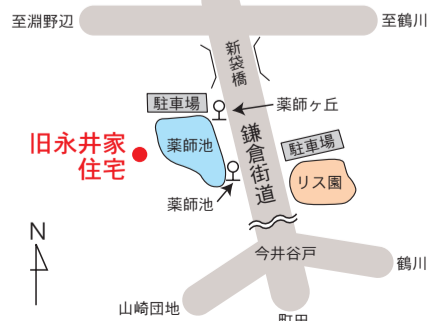
連載

町田市の文化財をご存知ですか

第5回 旧永井家住宅 (重要文化財)

旧永井家住宅は町田市内唯一の国の重要文化財(建造物)です。もともとは市内小野路町にあったもので、昭和50年に薬師池公園内に移築されました。旧永井家住宅は典型的な多摩丘陵の民家で、17世紀後半に建築されました。都内では最も古い民家に属するものです。このたび移築以来、初めての全面改修が実施され、10月に完了しました。同じく薬師池公園内に移築されている旧荻野家住宅(東京都指定有形文化財)とともに江戸時代の古民家をご覧下さい。

所在：野津田町3424 薬師池公園内
薬師池公園開園時間：6:00～18:00
案内：小田急線町田駅北口(POPビル先)21番乗り場から本町田經由鶴川駅行き、または本町田經由野津田車庫行きバスで「薬師池」か「薬師ヶ丘」下車。



三輪小学校の教育

「みんな仲よし三輪の仲間」 開校以来の「合い言葉」

2012年度
開校30周年を
迎えます。

11月11日(金) 町田市教育委員会研究推進校として「心身ともに健やかな子どもの育成」をテーマに研究発表を行いました。



【体ほぐし3年・風船ポン】

1人→2人ペア→4～5人のグループと人数を増やしなが、体のいろいろなところで風船を弾きます。痛さもなくみんなで楽しめる運動です。友達と動きを合わせて風船を追いかける楽しさが味わえます。



【体づくり運動4年】



【跳び箱運動6年】

【アンサンブルカンタービレ】

女性メンバー5人による演奏家の皆さんです。楽器の紹介あり、楽しいトークあり、クラシックは勿論あらゆる曲を楽しくアレンジして聴かせてくれます。子ども達は音楽鑑賞の時間をとても楽しみにしています。



【俳句】

毎学期終業式後に『俳句大賞』の表彰式を行っています。校長室前の廊下は、いつも子ども達の俳句が掲示されています。平成22年度NHK全国俳句大会ジュニアの部で10名が入選しました。

【三輪小クラブ 昆虫観察】

サマースクールの中で、毎年行われている講座です。三輪小学校近くの里山で子ども達は夢中になって昆虫を見つけます。周囲の豊かな自然に恵まれ、生活科・総合的な学習、クラブ活動では体験を多く取り入れた活動を行っています。



大戸小学校の教育

～地域が集う学びの拠点～



「人・街・夢」づくり あったか元気 大戸小が生まれ変わります。来春には、リニューアルされた校舎の中で、小・中学生が共に学ぶ、町田市立小中一貫ゆくのき学園の誕生です。外壁工事の終わった校舎には、鮮やかに「ゆくのき」の文字が浮かび上がっています。



秋晴れの10月1日(土)、全校校外学習で法政大学多摩キャンパスに向かう129名の児童と保護者、教職員、そして60名にも及ぶ学生ボランティアが一堂に会しました。

日頃から本校では、遊びやスポーツ、宿題などによる放課後活動(通称ホウカツ)で大学教授を含め法政大学の学生が週4日、本校へ足を運んで来ています。

出発前のひと時、校庭で満面の笑みを浮かべる児童と学生。昼食後は、学生企画のナンバーコールゲームに興じ、お腹も心も満たされ、元気いっぱい遊ぶことができました。



ありがたいことに、学生からは「大戸小のためなら…」という声も聞かれます。学校は児童や学生のみならず、地域に集う全ての人にとって「学びの拠点」であり続けたいと願っています。

さて、町田市初の小中一貫校の開校まであと4ヶ月。これまで4年間に及ぶ一貫校に関するあり方検討委員会などでの議論を踏まえ、新たな学校づくりの骨子となるものを紹介させていただきます。

■ゆくのき ならではの教育 小中一貫教育

小中9年間を通して、「知・徳・体の調和」のとれた児童・生徒の育成を目指し、小規模校の強みを生かしながら、一人ひとりの成長・発達を丁寧に見取り、かかわり、促していきます。

■みんなで創るエコスクール

地域の豊かな自然環境や幅広い人的ネットワークを活用し、里山保全や校庭全面芝生化など環境教育の視点を重視した特色ある教育活動を推進し、地域が集う学びの場にふさわしいエコスクールを実現していきます。

■学校づくりは地域づくり 地域協働の学校

地域に開かれたスクールコンサートや地域参加型の小中合同運動会などゆくのき学園の魅力と誇りを実感する場と機会を通して、学校と地域・家庭が一体感をもって取り組む「地域協働の学校」づくりに努めていきます。



市民の皆様から寄せられる温かいまなざしとエールが、新たな教育活動への大きなエネルギーとなるはず。



町田第一中学校の教育

連合陸上2年連続総合優勝!～町一中生の底力～

町田第一中学校は「正義を貫ける学校」「正直であること・まじめであることを誇れる学校」を目指して、保護者・地域とともに歩んでいます。

今年度と来年度は、町田市研究推進校として、「学び続けようとする学習意欲の定着を目指した『考える力』の取り組み」をテーマに、よりよい授業を実践し、確かな学力の定着を図る研究に取り組んでいます。



▲地域行事への参加

生徒たちは、学習面だけでなく、学校行事や部活動、地域の行事にも意欲的に取り組んでいます。そんな中、10月に行われた連合陸上(町田市中学校対抗陸上競技大会)では、町一中生が底力を見せてくれました。昨年度の総合優勝校というプレッシャーをはねのけて、選手たちは実力通りの活躍を見せたり、あるいは期待以上の力を発揮したりして、見事に連覇を果たしました。



▲体育大会

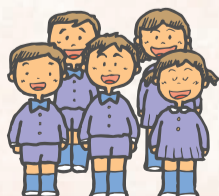
11月1日(火)の合唱コンクールでは、2学期の行事の締めくくりとして、各学級とも、心に響く歌声をパルテノン多摩の大ホールに響かせました。



▲連合陸上



▲合唱コンクール



町田第二中学校の教育

～学習支援ボランティア活動～

町田第二中学校の教育活動の大きな特徴のひとつに学習支援ボランティア活動があります。これは学習活動に困難を感じている生徒を集めての学習支援です。校内に設置された特別支援委員会で学習支援が本当に必要な生徒を検討し、本人と保護者の同意を得た上で参加生徒を決定しています。検討の基準は、学年や教科での補充教室などで学習が可能な生徒を除き、学習に特別な困難を抱え、学生ボランティアとの個別な指導が必要な生徒を対象としています。



▲指導の様子



▲みんな真剣に取り組んでいます

学生ボランティアは、近隣の大学生から募っています。現在16名が登録をされていて、生徒の学習を支えています。活動は、毎週水曜日の午後2時半から4時半まで。写真は活動中の様子です。

活動のもうひとつの特徴として、毎回学生による振り返りの時間を約30分間設けていることです。その日の生徒の学習の様子をカルテに記入して、それをもとに指導法の交流を行っています。それぞれが他の学生の指導法から学ぶことも多く、充実した時間になっています。



▲指導法の振り返りの時間



▲学生ボランティアの皆さま